

ふるさと応援寄附金の ご案内

福島県  楡葉町

寄附者の皆さま

この度は、福島県檜葉町へふるさと応援寄付金をご検討いただきまして、誠にありがとうございます。

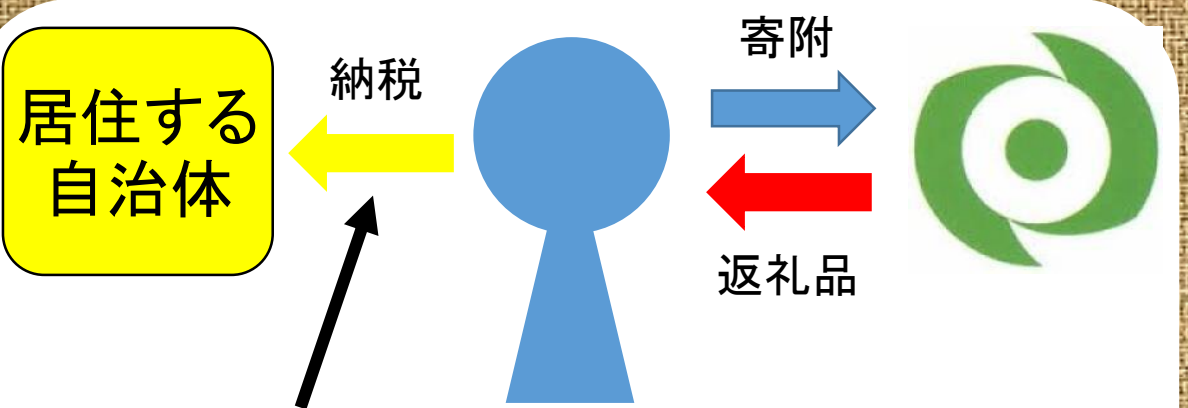
檜葉町は、平成23年3月11日の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故により、政府から避難指示が出されていましたが、インフラをはじめ、住宅や医療、商業などの整備を急ピッチで進め、平成27年9月5日、4年6ヶ月という長期におよぶ避難指示が解除されました。全国の皆さまからいただきました温かな支援に恩返しするため、「新生ならはの創造」という新たな目標に向かって全力で取り組んでいるところです。

震災から6年8ヶ月が経過しましたが、現在でも、農作物や特産品に対する風評被害は根強く、完全に払拭できたとは言いきれない状況ではありますが、そのような中においても、檜葉町と言えば「木戸川の鮭切り身&珍味」「檜葉のコシヒカリ」、天神岬スポーツ公園内「サイクリングターミナル宿泊券&バーベキュー&しおかぜ荘の温泉入浴券」、わらじ組の手作りによる布草履など、本年度も町としてできる限りの返礼品をご用意させていただきました。

檜葉町を知っていただき、応援いただく皆さまへ心からの感謝をするとともに、お寄せいただきました寄附金をこれからの新たなまちづくりに役立ててまいりたいと思います。引き続き、皆さまからの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

◇檜葉町ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）の仕組み

ふるさと納税とは、任意の市町村に対して寄附することで、本来支払うべき住民税等が控除される制度です。寄附する市町村を選択することで、自ら税の用途を選択できるだけでなく、実質2千円負担で、各市町村が指定する返礼品を受け取ることができます。



翌年度の住民税等から、寄付額より2千円を引いた金額を控除

◇手続きの流れ

 は寄付者に行っていただく作業  は檜葉町役場が行う作業

メール、FAX、電話等による申込のご連絡

申込関係書類(寄付金申込書、払込取扱票、寄付金税額控除に係る申告特例申請書、
返礼品選択用紙、手引き)及び返信用封筒の発送

申込関係書類（寄付金申込書寄付金税額控除に係る申告特例申請書、
返礼品選択用紙）のご返送
（ただし、寄付金税額控除に係る申告特例申請書は
「ワンストップふるさと納税特例制度（※）」を利用する場合のみ提出が必要）

払込取扱票による寄付金額のご入金【住所、氏名、電話番号を記載願います】

ご入金を確認後、返礼品及び受領証を発送
（なお、収穫・漁獲等の時期により返礼品の発送時期は前後する可能性があります）

受領証を添えて確定申告を行う
（ただし、「ワンストップふるさと納税特例制度(※)」を利用する場合は確定申告が不要

※「ワンストップふるさと納税特例制度」とは、会社員などで他に確定申告をする
必要がなく、1年間の寄付先が5ヶ所以下である場合に確定申告が不要な制度です。
この制度を活用することで控除額のすべてが翌年度の住民税から控除されます。
なお、2017年分の申請用紙の郵送は2018年1月10日必着となっております。

用途一覧

皆様よりいただきました寄附金は下記の用途で大切に活用させていただきます。

東日本大震災からの復興に 資する事業

震災により失われた生活基盤設備の復旧・新設等の復興を目的とした事業の推進に寄附金を活用させていただきます。

こどもたちの健全育成及び 健康増進に資する事業

子どもたちが健やかに生まれ育つための健康増資・育成支援の推進に活用させていただきます。

教育、文化活動及び スポーツ振興に資する事業

小中学校における学習用品や図書の購入等の、教育、文化活動、スポーツの振興を目的とした事業に活用させていただきます。

その他、町長が必要と認める事業

上記6事業ではカバーしきれない様々な事業の原資として活用させていただきます。

自然環境の保全及び緑化に 資する事業

公園、遊歩道、街路樹の整備等の、環境保全や緑化を目的とした事業の推進に寄附金を活用させていただきます。

高齢者の健康増進に資する事業

福祉・医療の拡充等、高齢者が健康に暮らせる町づくりの推進に活用させていただきます。

地域文化の伝承及び育成に 資する事業

祭りの運営補助や神輿の修繕等の、町の文化の伝承及び育成に資する事業に活用させていただきます。

返礼品のご紹介



ならは米
(コシヒカリ)



木戸川鮭セット
(コシヒカリ3和、
切身、珍味)



木戸川鮭の塩引き
まるまる一本



しおかぜ荘日帰り入浴・食事券
サイクリングターミナル宿泊券



絵葉書セット
(切絵の絵柄、10枚)



ウィンディーランド
ジェラート引換券



天神岬 手ぶらで
BBQ 割引券

牛セット・海鮮セット・豚肉セット



檜葉わらじ組による
手作り布草履(わらじ)



ふるさと案内人
町内案内

◎寄付金額等の詳細は、次の資料のとおりです。

返礼品一覧

寄附金額	内容	準備数
5,000円	鮭の塩引き まるまる一本	5
	檜葉わらじ組の 手作り布草履 1足	50
	ウィンディーランドジェ ラート引換券（4食分）	定数無し
	絵葉書セット（10枚）	定数無し
10,000円	檜葉のコシヒカリ 6kg	50
	木戸川鮭セット （檜葉のコシヒカリ 3kg、 鮭の切身2パック、珍味60g×2）	50
	しおかぜ荘入浴無料券 （4回分）	定数無し
	サイクリングターミナル日 帰り入浴・食事券	定数無し
20,000円	檜葉のコシヒカリ12kg	50
	木戸川鮭セット×2	50
	天神岬手ぶらでBBQ 割引券（3名分）	定数無し
35,000円	サイクリングターミナル宿 泊券（1名分）	定数無し
	天神岬手ぶらでBBQ 割引券（5名分）	定数無し

【ご連絡】

毎年好評をいただいている「木戸川の鮭セット」ですが、10月に2週続いた台風の影響で、捕獲数が激減しており、本年度は皆さまお目当ての「いくら」を返礼できない状況です。つきましては、「いくら」の代わりに檜葉のコシヒカリをご用意いたしましたのでご理解のほど、よろしくお願いいたします。

※ふるさと案内人につきましては、別途納税者様と日程の調整をさせていただきます。

事業者紹介①



◇木戸川漁業協同組合

写真はふ化場長の鈴木謙太郎さん。木戸川漁協の顔！



かつては12万匹の鮭が遡上し、本州一と言われ、檜葉町の秋の風物詩でした。しかし6年前の震災により、一度は壊滅状態に。

2015年、町の避難指示解除とともに、漁協ではふ化場を再建。漁獲量は8443匹と震災前の10分の1にも満たず、去年も7329匹に留まりました。それでも毎年500万匹近い稚魚を放流し、震災前の姿を取り戻そうと、木戸川再興のために全力で取り組んでいます。

今年返礼品として送付させていただきます木戸川の鮭は、そんな数少ない鮭の中でも厳選したものを提供させていただきます。組合員さんたちの想いがこもった一匹一匹の鮭。ぜひ、味わっていただきたいと思ひます。



←「さけのよ」は
鮭セットの切り
身となります。

事業者紹介②

有限会社 がんたら



◇有限会社 がんたら

写真は代表取締役の佐藤憲之さん。榎葉の農業はこの人のおまかせ！



町長も稲刈り！

風評被害の影響は深刻でした。原発事故に伴い、何らかの区域指定をされた地区の作物は、検査を繰り返し、安全が証明されてもなお、見向きもされない時期もありました。それどころか、なぜあえてその場所で農業を再開するのかと、批判を受けることもありました。

“がんたら”の由来は水車が回る音。水車で精米をしていた時代からの、老舗米屋です。このがんたらを守ることに、榎葉の米を、またたくさんの人たちに食べてもらうこと。そのために、代表である佐藤さんをはじめ、榎葉の農家さんたちは試行錯誤を繰り返し、今年も美味しく安全なお米を提供してくれます。精根こもった榎葉の米、ぜひご堪能ください！



事業者紹介③

檜葉わらじ組



震災により檜葉町民を温かく受け入れていただいた会津美里町の仮設住宅へ避難した際、全国から寄せられた支援物資のうち、着なくなったTシャツ等を活用して布草履造りを始めたことがきっかけで「檜葉わらじ組」を結成!!
一つひとつ手作りされる草履はまさに“一点モノ”で、履けば履くほど足になじみ、独特の風合いによって世界でたったひとつの草履へと生まれ変わります。
私たちの“まごころ”が詰まった草履をぜひ、履いていただきたいと思います!

